

平成 17 年度リサーチ・フェア
政策コンテスト “View”

新規公共サービスの創造

公共サービスは、誰のため、また何のために供給されるのだろうか。

仮に、公共サービスが真に住民のために供給されるものであるならば、公共サービスは、行政のみにとどまらない多様な主体により供給されているはずである。

地域が自律を始め、地域自治が次代の主流となりつつある中で、地域に住まう人々のニーズに沿った公共サービスの供給が求められる。

— 課題 —

あなたが選ぶ自治体における公共サービスを見直すために、既存の行政の役割にとらわれない、地域のニーズに基づいた新規公共サービス、もしくは既存のサービスを補完する公共サービスを提案してください。

平成 17 年 12 月 3 日 (土)
10:00 開幕 16:00 閉幕

関西学院大学神戸三田キャンパス
Ⅱ号館 101 号教室

出場チーム紹介

チーム S-Pachai (関西学院大学総合政策学部)

『伏見区ライフサポートサービス HELPush』

高齢者が日頃抱える小さな問題の、
地域ぐるみによる解決を目指します。

チーム あおぞら計画隊 (関西学院大学総合政策学部)

『高齢者 × 子ども = +』

子どもと老人との協働により、
よりよい社会の実現を目指します。

チーム OTONA NO OMOCHA (関西学院大学総合政策学部)

『Return to the future ～失われた公園を取り戻せ～』

「公園」の役割を見直し、
住民の共同体意識を育みます。

チーム Slap Kids + (南山大学総合政策学部)

『瀬戸こども大学』

「こども大学」を軸とした、
市民ネットワークの構築を目指します。

チーム 中村人 (岐阜大学地域科学部／南山大学総合政策学部)

『夜はみんなで図書館へ行こう』

まちの核として図書館の役割を見直し、
「我がまち意識」を醸成します。